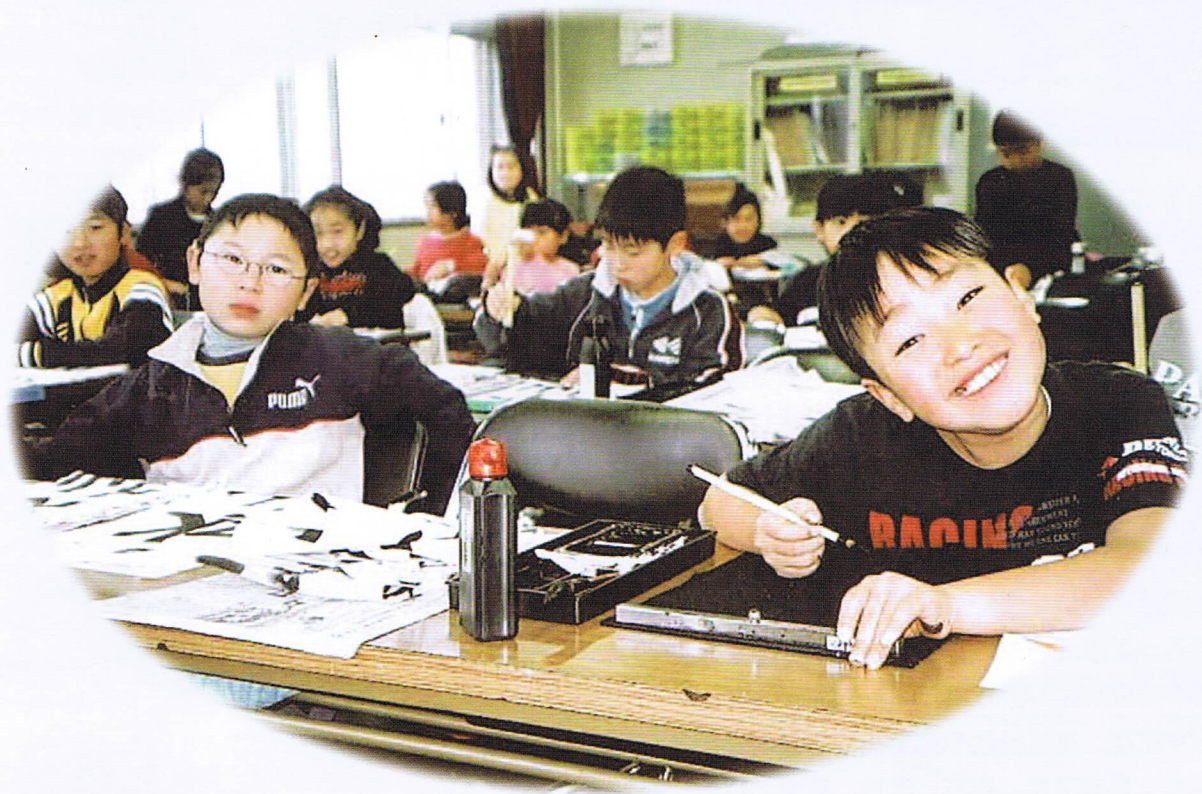


保 存 版

日宇地区地域福祉活動計画

育てよう未来へつなぐ まちづくり



日宇地区福祉対策推進協議会
佐世保市・佐世保市社会福祉協議会

【1】日宇地区地域福祉活動計画策定委員会

日宇地区の地域福祉活動計画を策定するにあたって、日宇地区福祉対策推進協議会の構成員を中心とした「策定委員会」をつくり、「地域福祉“お茶の間トーク”(P7～P8参照)」で出された意見の整理や、計画の原稿作成などを行いました。



(策定委員)

- | | |
|---------|--------|
| ○吉原 義人 | ○苑田 典路 |
| ○権藤 幸子 | ○高村 正 |
| ○栗崎 謹吾 | ○山口 廣光 |
| 田代 和恵 | ○釘本 智志 |
| 霧野 憲郎 | 仁志 忠雄 |
| ○橋本 憲男 | ○大淵 正信 |
| ○山本 由美子 | 岩永 隆三 |
| 福岡 安男 | ○吉末 隆志 |
| 迎 武満 | ○山口 博 |
| ○真鍋 貞子 | 井上 ヤス子 |
| ○倉本 惇子 | 酒元 國基 |
| ○山内 康子 | 吉田 ヒロ子 |
| ○浦川 洋子 | ※順不同 |
| | ○…編集委員 |

【2】日宇地区ってこんなまちです

(日宇地区の歴史)

①「日宇」という地名の由来は…

昔、日宇湾は、今の日宇川の線に沿って猫山ダムあたりまで入り込んでいて、細長い帯状をなしていました。潮の干満によってできる見事な景観に、人々がこの土地を「干海」と呼んだことが「日宇」の語源となったとされています。

黒髪小学校の北に、地名として「入船屋敷いりふねやしき」、「干渡ひわたし」、「渡瀬わたせ」などの地名が残っていることは、海水が今の黒髪神社の真下あたりまで入って来ていたことを確証づけています。

②日宇に人が住み始めたのは…

日宇には、縄文時代や弥生時代から人々が住んでいたと考えられており、烏帽子岳、福石、天神、東浜、日宇駅前などからは、当時の生活の跡である石斧や石鏃せきぞくなどがたくさん発見されています。

③「日宇地区」とは…

昔の日宇地区は、大変区域が広く、東は早岐との境である田ノ浦の中央から、西は旧戸尾小学校上の峰の坂まで、北は烏帽子岳と隠居岳の分水嶺までとされており、明治32年に日宇村となりました。

明治35年4月に佐世保に市制が施行されると、まず一部が佐世保市に編入され、その後昭和2年には日宇村全部が佐世保市に編入されました。

(佐世保市における日宇地区の位置)



猫山ダムを望む

(昔はこのあたりまで海水が来ていました)

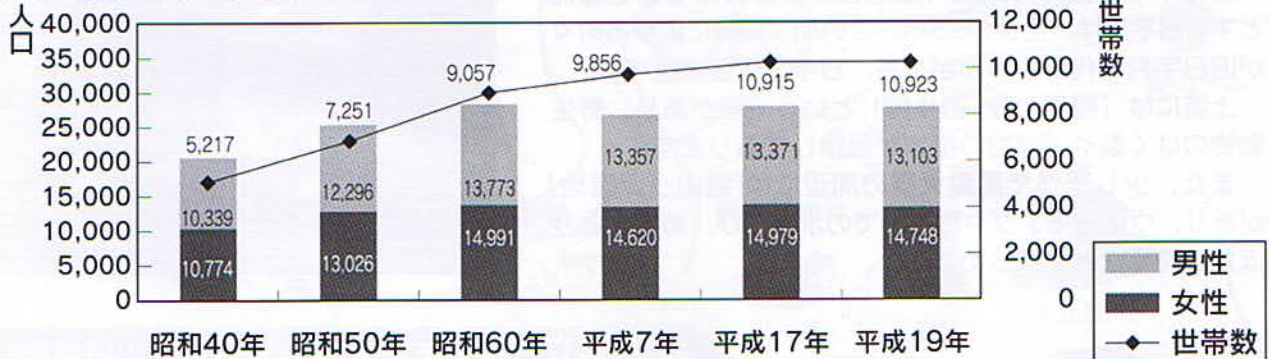
【参考：徳永繁（日宇郷土史家）著「干海」】

★日宇地区って……どのあたりをいうの？

現在、日宇地区と呼ばれる範囲は、次のとおりです。

町 名	日宇町、黒髪町、白岳町、大塔町、沖新町、卸本町、大岳台町、もみじが丘町、大和町(一部を除く)
-----	--

(日宇地区の人口推移) ※いずれも10月1日現在



(日宇地区の小・中学校) ※学級数・児童数は平成19年7月現在

◎日宇小学校

日宇小学校は学級数16、児童数439名の学校で、「思い合う」、「よく考える」、「たくましい」子どもの育成を目指し、烏帽子岳の四季を感じながら成長しています。

また、「命」を大事にする教育を行うとともに、保護者・地域の皆さんと協力しながら、日宇の未来を担う子どもたちを見守っています。



◎黒髪小学校

黒髪小学校は昭和28年4月に開校、平成20年に創立55周年を迎えます。学級数19、児童数520名の中規模校です。年間を通して異学年交流を行い、仲良く活動しています。

特色ある教育活動は、地域の老人会・デイサービスセンターとの交流学习、「いもの収穫祭」や「米づくり」の勤労・生涯体験学習、「日宇川調査」を通じた環境学習、「浮立活動」を通じた芸能伝承活動などです。



◎大塔小学校

大塔小学校は黒髪小学校から分離独立し、平成6年4月に開校しました。学級数26、児童数753名です。子どもたちは素直で、学ぶ意欲も十分あります。

全校朝会は始業のチャイムと共に始まり、静かに立ったまま話に耳を傾けるなど、規律も十分に守られています。また、普段の授業の質を高める「授業改善」・「家庭学習のすすめ」、夏休みには「学習教室」を全校で取り組んでいます。



◎日宇中学校

日宇中学校は学級数24、生徒数759名で、生徒たちは落ち着いた学校生活を送っています。学校内外でも、きちんとあいさつができる明朗な生徒たちです。学習や部活動で優れた能力を発揮する生徒も多く、平成19年度も県大会や九州大会に多くの生徒が出場しました。保護者の皆さんも教育に対する関心は高く、PTA役員の方々の活動も熱心です。



※日宇地区には、この他にも長崎県立佐世保南高等学校、佐世保工業高等専門学校があり、さながら学園都市のようです。